

平成26年度

事業報告書

自；2014年（平成26年）4月1日

至；2015年（平成27年）3月31日

公益財団法人

日本高等学校野球連盟

I. 事業の状況

1. 高等学校野球の普及、振興、指導及び監督

- (1) 年度内に評議員会を3回、理事会を6回、それぞれ開催して案件の審議、決定を行いました。また毎月定例として業務運営委員会を開催（12月を除く）して当面の諸案件について協議、連盟運営の円滑化を図りました。
- (2) 年度内に各種委員会（総務、財務、審判規則、選手権大会運営、選抜大会運営、軟式部、技術・振興、プロアマ健全化、連盟70年史編修）を必要に応じて随時開催し、諸問題の検討を行い、高等学校野球の健全な育成、発達に努めました。また、審議委員会を開催し（全体委員会を年5回、小委員会を週1回計46回）、不祥事件に対する指導を行うとともに、不祥事件発生防止の重点目標を3項目（指導者の部内暴力、部員のいじめ行為の絶滅、インターネットや携帯電話のメールによる迷惑行為の防止）を挙げて、諸会議や通達で指導徹底を行いました。
- (3) 年度内に各都道府県高等学校野球連盟会長会議を1回、同理事長会議を2回それぞれ開催し、加盟団体との連絡と諸問題の伝達、徹底を計りました。
- (4) 本年度も『大会参加者資格規定』を定め、各都道府県連盟に通達し、加盟校への指導を要請しました。
- (5) 各種表彰（日本学生野球協会優秀選手表彰、育成功労賞表彰）を行いました。
- (6) 高等学校野球の普及、振興のため、部員不足による連合チームの大会参加を認めることとしました。

2. 高等学校野球大会その他の試合の開催及び協力

(1) 第86回選抜高等学校野球大会

毎日新聞社と共催で平成26年3月21日（金）から4月2日（水）までの12日間（1日雨天中止、2回戦1試合引き分け再試合）、阪神甲子園球場で開催、平成26年1月24日（金）に開かれた選考委員会で選考された32校が参加し無事盛況のうちに終了、龍谷大学付属平安高等学校（京都）が初優勝を果たしました。準優勝は履正社高等学校（大阪）。

(2) 第96回全国高等学校野球選手権大会

朝日新聞社と共催で平成26年8月11日（月）から25日（月）までの15日間（雨天のため開幕2日遅れ、1日日休養日を含む）、阪神甲子園球場で49校が出場して開催した。大阪桐蔭高等学校（大阪）が2年ぶり4回目の優勝を果たしました。準優勝は三重高等学校（三重）。

(3) 第59回全国高等学校軟式野球選手権大会

全日本軟式野球連盟、朝日新聞社、毎日新聞社の後援を得て、平成26年8月25日(月)から31日(日)までの7日間(準決勝1試合がサスペンデッドゲーム)、兵庫県の明石トーカロ球場と高砂市野球場の2球場で開催しました。参加校は全国16地区から各1校ずつ計16校。中京高等学校(東海・岐阜)が2年ぶり7回目の初優勝を果たしました。準優勝は三浦学苑高等学校(南関東・神奈川)。

(4) 第69回国民体育大会・高等学校野球競技

長崎県で硬式の部は平成26年10月14日(火)から16日(木)までの3日間(1日雨天中止)、軟式の部は平成26年10月14日(火)から16日(木)までの3日間(1日雨天中止)で開催。

硬式の部は、長崎市・長崎県営野球場で12校が参加。明德義塾高等学校(高知)が初優勝を果たしました。準優勝は高崎健康福祉大学高崎高等学校(群馬)。

軟式の部は、五島市・五島市中央公園野球場で10校が参加。和歌山県立南部高等学校(和歌山)が初優勝を果たしました。準優勝は神港学園神港高等学校(兵庫)。

(5) 春季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道、東北(秋田)、関東(神奈川)、北信越(富山)、東海(愛知)、近畿(京都)、中国(広島)、四国(高知)、九州(熊本)の全国9地区で平成26年4月下旬から6月上旬にかけて開催しました。

(6) 秋季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道、東北(宮城)、関東(千葉)、東京、北信越(石川)、東海(三重)、近畿(京都)、中国(鳥取)、四国(香川)、九州(福岡)の全国10地区で平成26年10月上旬から11月上旬にかけて開催しました。

(7) 第45回記念明治神宮野球大会・高等学校の部

平成26年11月14日(金)から18日(火)までの5日間、明治神宮野球場で開催。高等学校の部は、秋季地区大会の優勝校10校が参加し、仙台育英学園高等学校(宮城)が初優勝を達成しました。

3. 高等学校野球に関する調査及び研究

- (1) 平成26年5月末現在の硬式、軟式それぞれの加盟校数、部員数調査を今年も実施しました。集計結果は硬式が170,312人(3,224人増)で2年ぶりの増加、軟式が10,535人(410人減)で2年ぶりの減少。また、加盟校数は硬式が昨年から18校減の4,030校、軟式が6校減の460校。

4. 高等学校野球選手、部員等のスポーツ外傷予防及び健康増進

- (1) 年度内に開催の第86回選抜大会と第96回選手権大会に参加した投手全員を対象に、大会前に肩、肘の関節機能検査を実施、スポーツ障害の予防に努めました。検査結果の概要は次の通り。

	(86回選抜)	(96回選手権)
検査受診者数	102人	152人
	肩・肘	肩・肘
X線所見・肘（剥離骨折）	なし 12人	なし 23人
同　・肘（遊離体）	なし 1人	なし なし
	肩・肘	肩・肘
医師の診断　軽度の炎症	10人 10人	1人 12人
中程度の炎症	なし なし	なし なし
重い炎症	なし なし	なし なし

以上の結果、大会規定による投球禁止適用者はいなかった。

5. 高等学校野球に関する講習会・研修会の開催

(1) 審判講習会

第54回全国審判講習会を平成26年4月26日(土)、27日(日)の両日開催。実技は阪神甲子園球場、座学は兵庫県立総合体育館で実施。各都道府県から参加した受講者48人（各都道府県1人、北海道は2人）を対象にルール研修や実技指導を行いました。

また、北海道をはじめ9地区の地区別審判講習会に講師を派遣、地方審判の技術向上に努めました。

さらに、都道府県連盟審判との連携強化、審判技術の向上と正しい指導方法の習得を目的とした4回目の「高校野球 Umpire Coaching Clinic」を平成27年2月20日(金)から22日(日)までの3日間、前年の選抜大会ならびに選手権大会に審判委員を派遣した都道府県連盟からの推薦者15人を対象に実技及び座学研修を行った。

その他に、中学・少年野球育成事業の一環として、16回目の少年野球合同審判研修会を平成27年1月31日(土)、2月1日(日)に開催、少年野球3団体所属の審判45人を対象に審判技術の統一と向上を図りました。

(2) 新任理事長研修会

平成26年度新たに就任した都道府県連盟理事長6人を対象に、平成25年5月26日(月)、27日(火)の2日間、中沢佐伯記念野球会館で研修会を開催しました。

(3) 指導者研修会

都道府県連盟主催の加盟校指導者研修会に講師を派遣しました。

(4) 指導者育成プログラム「高校野球・甲子園塾」

高校野球のよき指導者となるために、教員在籍10年未満の指導者を対象に2回開催しました〔第1回；平成26年11月21日(金)から23日(日)、第2回；平成26年12月5日(金)から7日(日)のそれぞれ3日間〕。各回27人が参加して、近

府県加盟校の協力を得て、グラウンドでの実技研修ならびに中沢佐伯記念野球会館での座学研修を行いました。

(5) プロ野球現役選手によるシンポジウム「夢の向こうに」

日本野球機構、日本プロ野球選手会の協力を得て、2ヵ所で開催しました。開催結果は次のとおり。

平成26年12月7日(日) 静岡県 静岡市・草薙総合運動場
受講者；加盟校数112校、部員560人

平成26年12月13日(土) 長野県 松本市・やまびこドーム
受講者；加盟校数66校、部員263人

6. 高等学校野球を通じた国際交流及び国際相互理解の推進

年度内に次の国際大会に参加し、野球を通じて国際交流及び国際相互理解の実を挙げました。

(1) 第10回BFAU18野球選手権

平成26年9月1日(月)から6日(土)までの5日間(4日は予備日)、タイで開催された第10回BFAU18野球選手権に高校日本代表チームを派遣しました。参加は8か国・地域。

◇最終順位

第1位 韓国、第2位 日本、第3位 チャイニーズタイペイ
第4位 フィリピン、第5位 タイ、第6位 中国、第7位 スリランカ、
第8位 パキスタン

7. 高等学校野球に関する関係諸団体との協力及び提携

(1) アマチュア連絡会

日本野球連盟、日本学生野球協会、全日本大学野球連盟と定期的に連絡会を開催。また、全日本アマチュア野球連盟から全日本野球協会への組織変更に伴う協議にも参画しました。

(2) 学生野球資格回復に関する協議会

日本学生野球協会と日本野球機構ならびに日本プロ野球選手会が元プロ野球選手の学生野球資格回復について検討する学生野球資格回復に関する協議会に参画しました。

以 上